


評価対象年度	平成23年度	<b>施策評価シート</b>		政策	8	施策	20
施策名		20	生涯を豊かに暮らすための健康づくり	施策担当部局	保健福祉部、農林水産部、教育庁		
「宮城の将来ビジョン」における体系	政策名	8	生涯現役で安心して暮らせる社会の構築	評価担当部局 (作成担当課室)	保健福祉部 (健康推進課)		

<b>施策の目的</b> (目標とする宮城の姿)	<p>生活習慣の見直しや健康づくりに取り組む県民が増え、メタボリックシンドローム該当者や生活習慣病有病者が減少している。</p> <p>生活習慣の改善と検診の受診を率先して行う県民が増え、がんによる死亡率が減少している。</p> <p>「食育」への積極的な取組により食に対する理解や関心が高まり、バランスの取れた健全な食生活を実践する県民が増えている。</p> <p>新型インフルエンザなどの新たな感染症の流行に備えた感染症危機管理体制が構築されている。</p>	
<b>施策の方向</b> (「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」の「将来ビジョン・震災復興実施計画」の行動方針)	<p>「みやぎ21健康プラン」に基づく事業の推進により、バランスの取れた食生活・食習慣の実現や運動習慣の普及・定着を図るとともに、10の項目により県民の健康づくりを推進する。</p> <p>がん予防のための普及啓発を図るとともに、マンモグラフィ検診など効果的で質の高いがん検診の普及を促進する。</p> <p>地域や学校、家庭、職場等との連携、協力により、宮城の特性を生かした総合的な食育を推進する。</p> <p>保健所や衛生研究所、医療機関などの関係機関が連携した防疫体制や医療提供体制、情報提供体制の構築に取り組むとともに、感染症集団発生時に備え、隣県等を含めた広域的な連携体制の整備に取り組む。</p> <p>乳幼児期から高齢期まで、それぞれのライフステージに応じた心の健康づくりを促進するため、相談体制や指導体制を整備するとともに、社会問題となっている自殺対策を推進する。</p> <p>乳幼児に対するフッ化物の活用を推進するとともに、それぞれの年代や地域の実情に応じた歯科保健体制の整備を促進する。</p>	

<b>施策に関する社会経済情勢等の状況</b> (全国・隣県・本県の状況、法令・条例・計画等策定の状況等について)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成20年度からメタボリックシンドロームに着目した特定健診・保健指導を各医療保険者が実施することになり、糖尿病等の生活習慣病有病者・予備群を平成27年度までに25%減少させることが国の政策目標として掲げられている。</li> <li>平成20年度の特定健診の結果、宮城県のメタボリックシンドローム該当率は全国一高いことが判明した。</li> <li>平成18年から平成22年に実施した国民健康・栄養調査の結果から、食塩の摂取量、喫煙者数、飲酒習慣者数などが全国のなかでも多く、都道府県別ではほとんどの項目がワースト10位以内に入っている状況が判明した。</li> <li>現行の「みやぎ21健康プラン」では、基本方針の一つとして、生活習慣病の「一次予防」の重視ということが掲げられているところであるが、平成25年3月に改定を予定している次期「みやぎ21健康プラン」においても、メタボリックシンドロームの発生予防及び生活習慣の改善にさらに重点的に取り組んでいくことを掲げることとしている。</li> <li>がん対策基本法に基づき「宮城県がん対策推進計画」を平成20年3月に策定し、関係機関と協働し、総合的かつ計画的に推進している。</li> <li>「第2期宮城県食育推進プラン」により健全な食生活と心身の健康増進を目指している。また、近年、食の安全安心に対する関心の高まりや食料自給率向上に対する施策の推進等に伴い、地産地消を事業の展開方針に掲げる民間企業等も著しく増加しており、これらとの連携による施策の推進が活発化してきている。</li> <li>平成21年度は新型インフルエンザ(A/H1N1)が世界的に流行した。今後、高病原性新型インフルエンザの発生が懸念されるほか、天然痘等の再興、感染症によるテロ行為のおそれなど、感染症危機管理の重要性が国際的にも指摘されている。</li> <li>全国の自殺者数は平成10年に3万人を超え、その後も高い水準で推移しており、深刻な問題となっている。本県の自殺者数は、平成15年に600人を超えてからは600人台で推移し、平成21年に500人台へと減少している。(平成21年577人)</li> <li>自殺死亡率(人口10万人当たりの人数)は、平成15年に全国の自殺死亡率を超えてから、全国より高い水準で推移している。(平成21年 県24.8、全国24.4)</li> <li>宮城県自殺対策計画(平成21年3月策定)を策定し、自殺死亡率を平成28年までに19.4(人口10万対)とすることとしている</li> </ul>	

決算(見込)額 (千円)	年度	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (決算(見込)額)	平成24年度 (決算(見込)額)	平成25年度 (決算(見込)額)
	県事業費	1,136,156	3,842,419	-	-

※事業費は「宮城の将来ビジョン推進事業」と「取組に関連する宮城県震災復興推進事業」の合計額(再掲分含む)

※達成度 A:「目標値を達成している」 B:「目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と同方向に推移している、又は現状維持している」 C:「目標値を達成しておらず、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と逆方向に推移している」 N:「現況値が把握できず、判定できない」					
目標指標等		初期値 (測定年度)	現況値 (測定年度)	目標値 (測定年度)	達成度
1-1	65歳平均自立期間(男性)(年)	16.66年 (平成17年度)	17.28年 (平成22年度)	17.88年 (平成24年度)	B
1-2	65歳平均自立期間(女性)(年)	20.11年 (平成17年度)	20.51年 (平成22年度)	21.64年 (平成24年度)	B
2	3歳児の一人平均むし歯本数(本)	1.63本 (平成19年度)	1.21本 (平成22年度)	1本以下 (平成25年度)	A
3	自殺死亡率(人口10万対)	27.8 (平成20年)	22.8 (平成22年)	22.8 (平成25年)	A

## ■ 施策評価（原案）

施策の成果	評価の理由
<p>目標指標等、県民意識調査結果、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策に期待される成果を発現させることができたか（「目標とする宮城の姿」に近づいているか）。</p>	<p>・本施策は「みやぎ21健康プラン」に示した目標の一部を目標指標として掲げているところである。「65歳平均自立期間」については、男女とも平成17年当時の状況から改善しているものの、目標値にはまだ開きがある。また、「3歳児の一人平均むし歯本数」については、震災の影響で2町の数値が未把握であるため参考値ではあるが、平成17年当時から大きく改善していることが認められる。</p> <p>・県民意識調査の結果を見ると、「重視の割合」が、概ね8割程度で推移しており、県民のこの施策への期待感がうかがえるが、一方で、「満足の割合」は4割程度で推移している。全体的に、取組に対する重視度が高く、政策に対する期待も大きいことから、県民の満足を得にくく、重視度と満足度との乖離度が小さくならない状況にあるが、引き続き満足度の向上を図る必要がある。</p> <p>・以上のことから、本施策は13事業で構成され、各事業毎の活動指標や成果指標を見ると、実績値はおおむね目標値前後の近い値であり、一定の成果があったと認められ、全体として概ね順調と判断される。</p>
<p>【評価】</p>	<p>・なお、「取組に関連する宮城県震災復興推進事業10事業」については、平成23年度の未実施事業3事業を除き、応急仮設住宅等での健康相談会や戸別訪問による指導等の事業を実施し、一定の効果があつたと認められる。</p>
<p>概ね順調</p>	

## 施策を推進する上での課題と対応方針（原案）

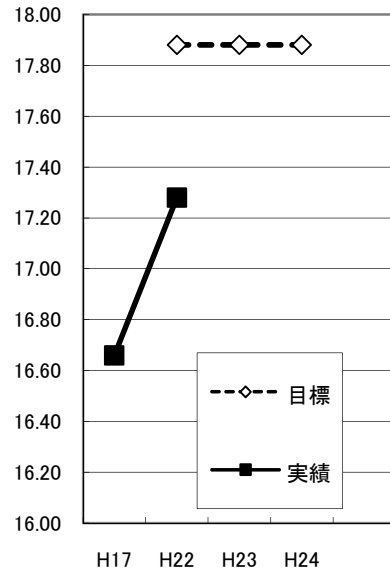
※施策が直面する課題や改善が必要な事項等  
※今年度の対応状況を含む今後の対応方針

<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民意識調査では、この施策について「重要」「やや重要」としている県民がほぼ8割であるのに対して、この施策に対する満足度について「わからない」と回答している県民が3割近くおり、「みやぎ21健康プラン」の推進等に対する意識啓発について、今後更なる周知を図り、県民一人ひとりが健康維持・増進について自覚を持ち、自ら健康管理を実践、実行させるような取組が必要である。</li> <li>・メタボリックシンドローム該当率が全国一高い状況を改善していく必要がある。</li> <li>・現行の「みやぎ21健康プラン」は、平成24年度で終期を迎えるため、新計画を策定していく必要がある。</li> <li>・がん医療の均てん化（＝全国どこでもがんの標準的な専門医療を受けられるよう、医療技術等の格差の是正を図ること）を促進するには、がん診療連携拠点病院の機能強化と併せ、空白地域のがん診療機能充実促進や拠点病院との診療体制の構築が必要である。</li> <li>・県民の食に対する理解や関心が高まりつつあることから、「みやぎ食育コーディネーター」の活動を支援する環境づくりや、地産地消の普及や食文化の継承については高校生や大学生などの比較的関心が薄いと思われる層への働きかけが必要である。</li> <li>・感染症対策や自殺対策、児童生徒の健康問題への対応等に関しては、専門家からの指導助言や連携、関係機関との調整など体制整備を図る必要がある。</li> </ul> <p>【対応方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民自らの健康意識の醸成、主体的な実践を促すために、関係機関と連携しながら、啓発普及に関連する事業をより効果的に展開していく。</li> <li>・現行の「みやぎ21健康プラン」について評価を行った上で、次期プランの改定作業に取り組んでいく。</li> <li>・がん医療の均てん化に向け、がん診療連携拠点病院を中心としたがん診療ネットワークの構築を進めていく。また、相談対応や患者会立ち上げなどがん患者等の支援を充実していく。</li> <li>・食育活動報告会議を開催し、「みやぎ食育コーディネーター」の地域での活動促進を支援する。また、地域や学校との連携の下、地産地消の推進や食文化の伝承に関する取組を一層進めていく。</li> <li>・感染症等の危機管理のための機器整備や薬品の備蓄等を行うとともに、専門家や大学などの関係機関との連携体制を整える。</li> <li>・地域における自殺防止や児童生徒への健康教育を推進するため、実務担当者への研修会等を開催し資質向上を図る。</li> </ul>
---

### 目標指標等の状況

※目標指標等の達成度 A:「目標値を達成している」  
 B:「目標値を達成していないが、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と同方向に推移している。又は現状維持している」  
 C:「目標値を達成しておらず、設定時の値から見て指標が目指す数値の変化と逆方向に推移している」  
 N:「現況値が把握できず、判定できない」

1-1	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26	
	65歳平均自立期間(男性) (年)	指標測定年度	H17	H22	H23	H24	-	-
		目標値(a)	-	17.88	17.88	17.88	-	-
		実績値(b)	16.66	17.28	-	-	-	-
		達成(進捗)率(b)/(a)	-	97%	-	-	-	-
達成度		-	B	-	-	-	-	

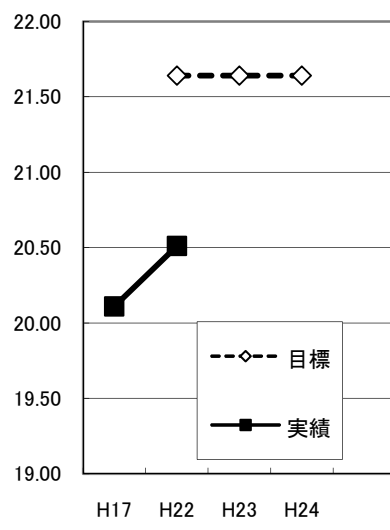


**目標値の設定根拠**  
 平成17年の平均自立期間16.66年に平均余命の自然な増加分(0.87年)及び保健医療福祉分野の総合的な施策による効果の増加分(0.35年)の総計1.22年を加えて設定した。

**実績値の分析**  
 目標値は達成していないが、目標値に向かって増加傾向で推移している。

**全国平均値や近隣他県等との比較**  
 平成22年の全国値を算出すると、17.20年であり、全国よりも高い水準となっている。

1-2	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26	
	65歳平均自立期間(女性) (年)	指標測定年度	H17	H22	H23	H24	-	-
		目標値(a)	-	21.64	21.64	21.64	-	-
		実績値(b)	20.11	20.51	-	-	-	-
		達成(進捗)率(b)/(a)	-	95%	-	-	-	-
達成度		-	B	-	-	-	-	

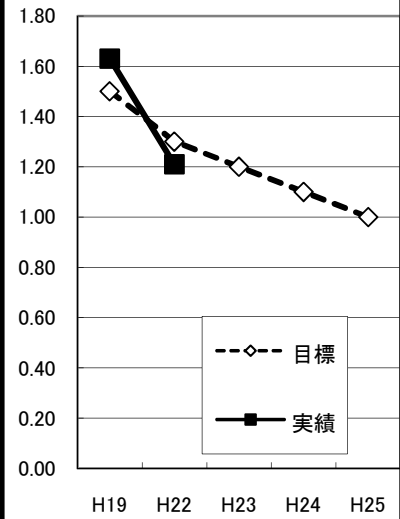


**目標値の設定根拠**  
 平成17年の平均自立期間20.11年に平均余命の自然な増加分(1.10年)及び保健医療福祉分野の総合的な施策による効果の増加分(0.42年)の総計1.52年を加えて設定した。

**実績値の分析**  
 目標値は達成していないが、目標値に向かって増加傾向で推移している。

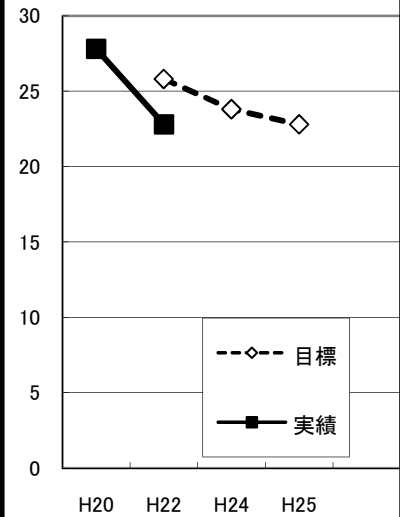
**全国平均値や近隣他県等との比較**  
 平成22年の全国値を算出すると、20.42年であり、全国よりも高い水準となっている。

2	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26	
	3歳児の一人平均むし歯本数(本)	指標測定年度	H19	H22	H23	H24	H25	
		目標値(a)	-	1.30	1.20	1.10	1.00	
		実績値(b)	1.63	1.21	-	-	-	
		達成(進捗)率(a)/(b)	-	107%	-	-	-	
達成度		-	A	-	-	-		



目標値の設定根拠	宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画
実績値の分析	震災の影響で2町(女川町・南三陸町)の数値が把握できないため、平成22年度は参考値とする。(実績値は、健康推進課調べ)
全国平均値や近隣他県等との比較	震災の影響があり、平成22年度の数値把握のできない県があったことから、全国のデータはでていない。

3	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
	自殺死亡率(人口10万対)	指標測定年度	H20	H22	H24	H25	-
		目標値(a)	-	25.8	23.8	22.8	-
	人口10万人に対する自殺で亡くなった方の割合	実績値(b)	27.8	22.8	-	-	-
		達成(進捗)率(a)/(b)	-	113%	-	-	-
達成度		-	A	-	-	-	



目標値の設定根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>「宮城県自殺対策計画(平成21年3月策定)」における数値目標として、厚生労働省の人口動態統計の「自殺死亡率」を設定した。</li> <li>本計画では、平成28年までに、基準年である平成17年の自殺死亡率26.9を国で目標としている自殺死亡率19.4になるよう目指している。</li> </ul>
実績値の分析	人口動態統計は平成22年まで公表済み。
全国平均値や近隣他県等との比較	平成22年自殺死亡率 全国23.4、宮城県22.8(人口動態統計)

**県民意識調査結果**

調査実施年度 (調査名称)		平成20年度 (平成21年県民意識調査)		平成22年度 (平成23年県民意識調査)		平成24年度 (平成25年県民意識調査)	
この施策 に対する 重視度	重 要	重視の 割合	40.7%	80.6%	39.7%	79.8%	
	やや重要		39.9%		40.1%		
	あまり重要ではない		7.6%	7.3%			
	重要ではない		1.8%	2.0%			
	わからない		10.0%	10.8%			
	調査回答者数		1,813	1,898			
この施策 に対する 満足度	満 足	満足の 割合	9.2%	44.4%	9.3%	47.6%	
	やや満足		35.2%		38.3%		
	やや不満		21.4%	17.3%			
	不満		6.8%	6.4%			
	わからない		27.3%	28.7%			
	調査回答者数		1,792	1,874			
調査結果について		<p>・重視度について、「重視」の割合が概ね8割程度で推移していることから、この施策に対する県民の期待が高いことがうかがえる。</p> <p>・満足度については、「満足」の割合が44.4%、47.6%と同程度で推移していることから、引き続き満足度の向上を図る必要がある。</p>					

宮城の将来ビジョン推進事業

番号	事業名	平成23年度 決算(見込) 額(千円)	事業の状況						
			担当部局・課室名	特記事項					
1	みやぎ21健康プラン推進事業	4,608	事業概要		平成23年度の実施状況・成果				
			県民の健康寿命の延伸,生活習慣病の発症予防等を基本とする「みやぎ21健康プラン」について,栄養・食生活,身体活動・運動,心の健康づくり,たばこ等10の重点項目ごとに取組を推進する。		生活習慣病の発症予防のため,栄養・食生活,身体活動・運動,心の健康づくり,たばこ等に関して,県民が望ましい生活習慣の定着化を図るための普及啓発活動を実施した。				
	保健福祉部 健康推進課		事業の分析結果			年度別決算(見込)額(千円)			
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24
妥当	ある程度 成果があった	概ね効率的	維持	9,535	4,608	-	-		
2	がん対策総合推進事業	3,052,523	事業概要		平成23年度の実施状況・成果				
			「宮城県がん対策推進計画」に基づき,がん予防及び検診受診率の向上,専門医師の育成確保,緩和ケアの提供,がんに関する情報提供・相談機能の充実及びがん登録の推進など,総合的ながん対策の推進に取り組む。		<ul style="list-style-type: none"> <li>がん診療連携拠点病院への助成(4病院)</li> <li>患者会意見交換会1回,市民講座1回,立上げ支援</li> <li>がん予防講演会及びパネル展(9月)</li> <li>地域がん登録の実施(年間)</li> <li>がん総合支援センターの設置,運営(年間)</li> <li>子宮頸がん等予防接種事業への助成(35市町村)</li> </ul>				
	保健福祉部 疾病・感染症対策室	取組19 再掲	事業の分析結果			年度別決算(見込)額(千円)			
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24
妥当	成果があった	概ね効率的	拡充	2,375,865	3,052,523	-	-		
3	みやぎの食育推進戦略事業	1,349	事業概要		平成23年度の実施状況・成果				
			「第2期宮城県食育推進プラン」に基づき,人材育成等による食育推進体制の強化に努めるとともに,イベント等での普及啓発により意識の高揚を図るなど,県民運動としての食育に取り組む。		<ul style="list-style-type: none"> <li>みやぎ食育コーディネーター活動支援(研修会等)の実施(7回,参加者70人)</li> <li>みやぎ食育応援団の食育活動への派遣マッチング(13件)</li> <li>みやぎまるごとフェスティバルでの「食育コーナー」出展(来場者1,740人)</li> </ul>				
	保健福祉部 健康推進課	取組7に再掲	事業の分析結果			年度別決算(見込)額(千円)			
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24
妥当	ある程度 成果があった	概ね効率的	維持	2,978	1,349	-	-		
4	食育・地産地消推進事業	1,364	事業概要		平成23年度の実施状況・成果				
			震災による需要の落ち込みへの対処や県産農林水産物等のイメージアップのため,地産地消の取組を全体的に進め,県産食材の一層の理解や消費・活用の促進を図る。また,宮城の「食」に関して情報発信を行う人材を登録・派遣し,体験活動や現地見学を通じて,県民への県産食材やフードチェーンに対する理解促進,食材を選択する力の育成等に取り組む,地産地消の一層の普及を図る。		<ul style="list-style-type: none"> <li>食材王国みやぎ地産地消推進店登録者数 178(H22) 212(H23)</li> <li>緊急雇用基金を活用して,復興応援キャンペーンを実施(3回,8,12,2月)するとともに,量販店に店頭販売員を設置し,被災事業者の商品試食や県内農林水産物のメニュー提案を行い,販路確保及び消費拡大を図った。</li> </ul>				
	農林水産部 食産業振興課	取組7 再掲 震災復興4①	事業の分析結果			年度別決算(見込)額(千円)			
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24
妥当	ある程度 成果があった	効率的	維持	2,716	1,364	-	-		
5-1	感染症対策事業 肝炎対策事業	28,825	事業概要		平成23年度の実施状況・成果				
			新興・再興感染症や生物テロ発生等に備え,広域的な連携体制の強化や保健所における相談・検査体制の整備を促進する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症指定医療機関に対する運営費補助</li> <li>病原体管理体制の強化</li> <li>HIV/エイズに関する正しい知識の普及啓発,相談・検査体制の整備</li> </ul>				
	保健福祉部 疾病・感染症対策室		事業の分析結果			年度別決算(見込)額(千円)			
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24
妥当	ある程度 成果があった	概ね効率的	維持	359,693	28,825	-	-		

5-2	感染症対策事業 肝炎対策事業	233,841	事業概要				平成23年度の実施状況・成果			
			新興・再興感染症や生物テロ発生等に備え、広域的な連携体制の強化や保健所における相談・検査体制の整備を促進する。				・ウイルス性肝炎の相談・検査 ・B型及びC型肝炎ウイルスの除去を目的として行うインターフェロン及び核酸アナログ治療に対する費用の助成 ・肝炎に対する正しい知識の普及啓発			
	保健福祉部 疾病・感染症対策室		事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
			妥当	ある程度 成果があつた	概ね効率的	維持	-	233,841	-	-
6	新型インフルエンザ対策事業	213,795	事業概要				平成23年度の実施状況・成果			
			新型インフルエンザの大規模流行時に備え、抗インフルエンザウイルス薬の備蓄や訓練の実施など発生対策の強化に努める。				・抗インフルエンザウイルス薬の備蓄・保管 ・検査機器、試薬等の確保 ・研修会の開催、普及啓発の実施 ・新型インフルエンザ対応体制の整備			
	保健福祉部 疾病・感染症対策室 薬務課		事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
			妥当	ある程度 成果があつた	概ね効率的	維持	667,390	213,795	-	-
7	心の健康づくり推進事業(自殺対策事業)	2,396	事業概要				平成23年度の実施状況・成果			
			県民の心の健康を保持するため、その普及啓発を図るとともに、地域におけるサポート体制の構築に取り組む。				・県精神保健福祉センターにおいて、心の健康電話相談窓口を設置して対応するとともに、精神保健福祉業務に従事する職員等を対象に教育研修を実施した。			
	保健福祉部 障害福祉課		事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
			妥当	成果があつた	効率的	維持	3,736	2,396	-	-
8	自殺対策緊急強化事業	48,874	事業概要				平成23年度の実施状況・成果			
			震災で様々な問題を抱え、自殺に追い込まれる被災者が増加することが懸念されることから、自殺を防ぐための人材を養成するとともに、県民への広報啓発や市町村・民間団体が実施する自殺対策事業等に助成を行う。				・県精神保健福祉センター、保健福祉事務所等が自殺対策の人材養成、強化モデル事業等を実施した。 ・市町村、民間団体が行う対面型相談、電話相談、人材養成、強化モデル事業に対し補助した。 平成23年度実績見込:補助件数35件(市町村24,民間団体11)			
	保健福祉部 障害福祉課	震災復興2③	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
			妥当	成果があつた	効率的	拡充	58,657	48,874	-	-
9	学校・地域保健連携推進事業	1,593	事業概要				平成23年度の実施状況・成果			
			公立小・中学校及び県立学校を対象に、心身の健康問題を抱えている児童生徒の課題解決に向け、希望する学校に専門医等を派遣し、「心のケア」や「放射線と健康」などに関する研修会、健康相談等を実施する。				平成23年度は、東日本大震災があったため、心の健康を中心に幼稚園・小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校合計53校でこの事業を展開した。報告書等からも事業の成果は十分であり、今後とも継続して実施していきたいと考えている。			
	教育庁 スポーツ健康課	取組16 再掲 震災復興6①③	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
			妥当	ある程度 成果があつた	効率的	維持	-	1,593	-	-
10	学校保健研修事業	433	事業概要				平成23年度の実施状況・成果			
			震災等により生じた児童生徒の新たな健康問題について、養護教諭等が最新の情報を得て学校保健の充実を図る必要があることから、学校保健研修会、養護教諭研修会を開催する。				学校保健研修会(参加者312名)、養護教諭研修会(参加者277名)を実施し、学校保健の充実を図るとともに養護教諭の専門性を生かすための有意義な研修会となった。アンケート内容からも、事業の成果は十分であり、今後も継続して実施していきたいと考えている。			
	教育庁 スポーツ健康課	取組16 再掲 震災復興6①	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
			妥当	ある程度 成果があつた	効率的	維持	-	433	-	-

		事業概要				平成23年度の実施状況・成果				
11	歯科保健対策総合強化事業	5,462	乳幼児のむし歯対策や在宅歯科・口腔ケア希望者の窓口整備など、歯科保健対策の向上に向けた取組を促進する。				乳幼児むし歯総合予防教室 2回実施, 参加者67人			
	12 保健福祉部 健康推進課		事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
①必要性		②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25		
妥当		成果があった	効率的	維持	3,891	5,462	-	-		
12	8020運動推進特別事業	4,182	事業概要				平成23年度の実施状況・成果			
	8020運動(80歳で20本以上の歯を保つことを目標とする運動)の達成を目指し, 県民の健康状態やライフステージに応じた歯と口腔の健康づくりを支援する。				(1)要介護者の口腔ケア研修事業 3回実施, 参加者190人 (2)8020運動推進特別事業評価検討委員会 1回開催, 出席委員11名					
13	保健福祉部 健康推進課	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
		妥当	成果があった	効率的	維持	-	4,182	-	-	
決算(見込)額計		3,599,245								
決算(見込)額計(再掲分除き)		543,332								



取組に関連する宮城県震災復興推進事業

番号	事業名		事業の状況			
	担当部局・課室名	平成23年度決算(見込)額(千円)	特記事項			
1	健康支援事業		70,446	<p><b>事業概要</b></p> <p>避難所、応急仮設住宅、在宅等の被災住民に対して、健康状態の悪化を防止するとともに健康不安の解消を図るため、看護職員による健康相談、訪問指導等を支援する。</p> <p><b>平成23年度の実施状況・成果</b></p> <p>・(社)宮城県看護協会に健康相談事業を委託し、山元町(9箇所)、南三陸町(4箇所)において、仮設住宅集会所等で健康相談を実施した。 ・民間賃貸住宅に入居している避難者の健康状態を把握するための調査を健診団体に委託実施し、調査結果を市町村に提供した。</p>		
	1	保健福祉部 医療整備課	取組21,取組22に再掲 震災復興1①	<p><b>事業の分析結果</b></p> <p>①必要性 ②有効性 ③効率性 次年度の方向性</p> <p>妥当 成果があった 概ね効率的 維持</p>	<p><b>年度別決算(見込)額(千円)</b></p> <p>H22 H23 H24 H25</p> <p>- 70,446 - -</p>	
						H22 H23 H24 H25
						- 70,446 - -
2	食生活支援事業		8,665	<p><b>事業概要</b></p> <p>応急仮設住宅の入居者等に対し、食生活の悪化を予防し、栄養改善を図るため、栄養士等による栄養改善等の支援を行う。</p> <p><b>平成23年度の実施状況・成果</b></p> <p>・栄養相談会の開催(172回) ・戸別訪問による指導の実施(164日)</p>		
	2	保健福祉部 健康推進課	震災復興2①	<p><b>事業の分析結果</b></p> <p>①必要性 ②有効性 ③効率性 次年度の方向性</p> <p>妥当 成果があった 効率的 維持</p>	<p><b>年度別決算(見込)額(千円)</b></p> <p>H22 H23 H24 H25</p> <p>- 8,665 - -</p>	
						H22 H23 H24 H25
						- 8,665 - -
3	歯科口腔保健支援事業		5,858	<p><b>事業概要</b></p> <p>応急仮設住宅等の入居者に対して、口腔の健康状態を改善し、誤嚥性肺炎等を予防するため、歯科医師、歯科衛生士による歯科口腔保健指導等を実施する。</p> <p><b>平成23年度の実施状況・成果</b></p> <p>12市町(104会場)において、歯科医師等による歯科口腔保健指導を実施した。</p>		
	3	保健福祉部 健康推進課	震災復興2①	<p><b>事業の分析結果</b></p> <p>①必要性 ②有効性 ③効率性 次年度の方向性</p> <p>妥当 成果があった 概ね効率的 維持</p>	<p><b>年度別決算(見込)額(千円)</b></p> <p>H22 H23 H24 H25</p> <p>- 5,858 - -</p>	
						H22 H23 H24 H25
						- 5,858 - -
4	リハビリテーション支援事業		25,925	<p><b>事業概要</b></p> <p>生活不活発病や障害の予防、住環境の改善、福祉用具の調整等を行うため、リハビリテーション専門職等による相談・指導を支援する。</p> <p><b>平成23年度の実施状況・成果</b></p> <p>被災8市7町のうち、6市4町で延べ19事業所が実施。 実施予定回数は、集団運動指導263回、リハ相談会268回、戸別訪問約7,500戸となっている。この事業の実施により仮設住宅の住環境調整や生活不活発病対策が、専門職により実施された。</p>		
	4	保健福祉部 健康推進課	取組19 再掲 震災復興2①	<p><b>事業の分析結果</b></p> <p>①必要性 ②有効性 ③効率性 次年度の方向性</p> <p>妥当 成果があった 効率的 維持</p>	<p><b>年度別決算(見込)額(千円)</b></p> <p>H22 H23 H24 H25</p> <p>- 25,925 - -</p>	
						H22 H23 H24 H25
						- 25,925 - -
5	妊婦健康診査支援事業		208	<p><b>事業概要</b></p> <p>震災後、妊婦が避難先などの病院において妊婦健康診査を再度受けた際に、支援を行う。</p> <p><b>平成23年度の実施状況・成果</b></p> <p>・被災地から避難した妊婦に対する妊婦健康診査の再健診が、避難先の自治体において円滑に提供された。</p>		
	8	保健福祉部 子育て支援課	震災復興2②	<p><b>事業の分析結果</b></p> <p>①必要性 ②有効性 ③効率性 次年度の方向性</p> <p>妥当 ある程度成果があった 概ね効率的 廃止</p>	<p><b>年度別決算(見込)額(千円)</b></p> <p>H22 H23 H24 H25</p> <p>- 208 - -</p>	
						H22 H23 H24 H25
						- 208 - -

		事業概要				平成23年度の実施状況・成果				
6	心のケアセンター運営事業	130,000	被災者の震災による心的外傷後ストレス障害(P.T.S.D),うつ病,アルコール依存,自殺等の心の問題に長期的に対応するとともに,被災精神障害者の医療と地域生活を支援するため,心のケアの拠点となるセンターの運営を支援する。				・仙台市内に基幹センターの「みやぎ心のケアセンター」を12月に開所。平成24年4月に石巻と気仙沼市内に「地域心のケアセンター」設置予定 ・保健所,被災市町,サポートセンター,関係団体と連携して相談,支援者支援,人材育成・研修等を実施			
	9 保健福祉部 障害福祉課	取組22 <b>再掲</b> 震災復興2③	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
			妥当	成果があった	概ね効率的	拡充	-	130,000	-	-
7	放射線健康対策事業	2,072	事業概要				平成23年度の実施状況・成果			
			放射線の健康への影響を判断するため,「宮城県健康影響に関する有識者会議」を設置するとともに,空間放射線量が高い県南地区において,子どもを対象とした健康影響に関する確認検査を実施する。また,講習会等を開催し,放射線が体に与える影響等,放射能に関する正しい知識の普及を図る。				有識者会議の開催 H23: H23.10.25, H24.1.24 内部被ばく線量サンプリング調査 甲状腺検査: H23.12.4, H24.1.15(子ども64名) WBC測定:H24.1.14~15(子ども43名,保護者27名) 住民・市町職員向け講習会の開催 H23: H23.10.4(丸森), H23.10.19(白石), H24.1.26(角田), H24.2.21(山元)			
	10 保健福祉部 保健福祉総務課	震災復興7①③	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
①必要性			②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	効率的	維持	-	2,072	-	-
決算(見込)額計		243,174								
決算(見込)額計(再掲分除き)		87,249								